

相撲

はじまり
の地・奈良

桜井市・香芝市・葛城市



「相撲はじまりの地・奈良」とは

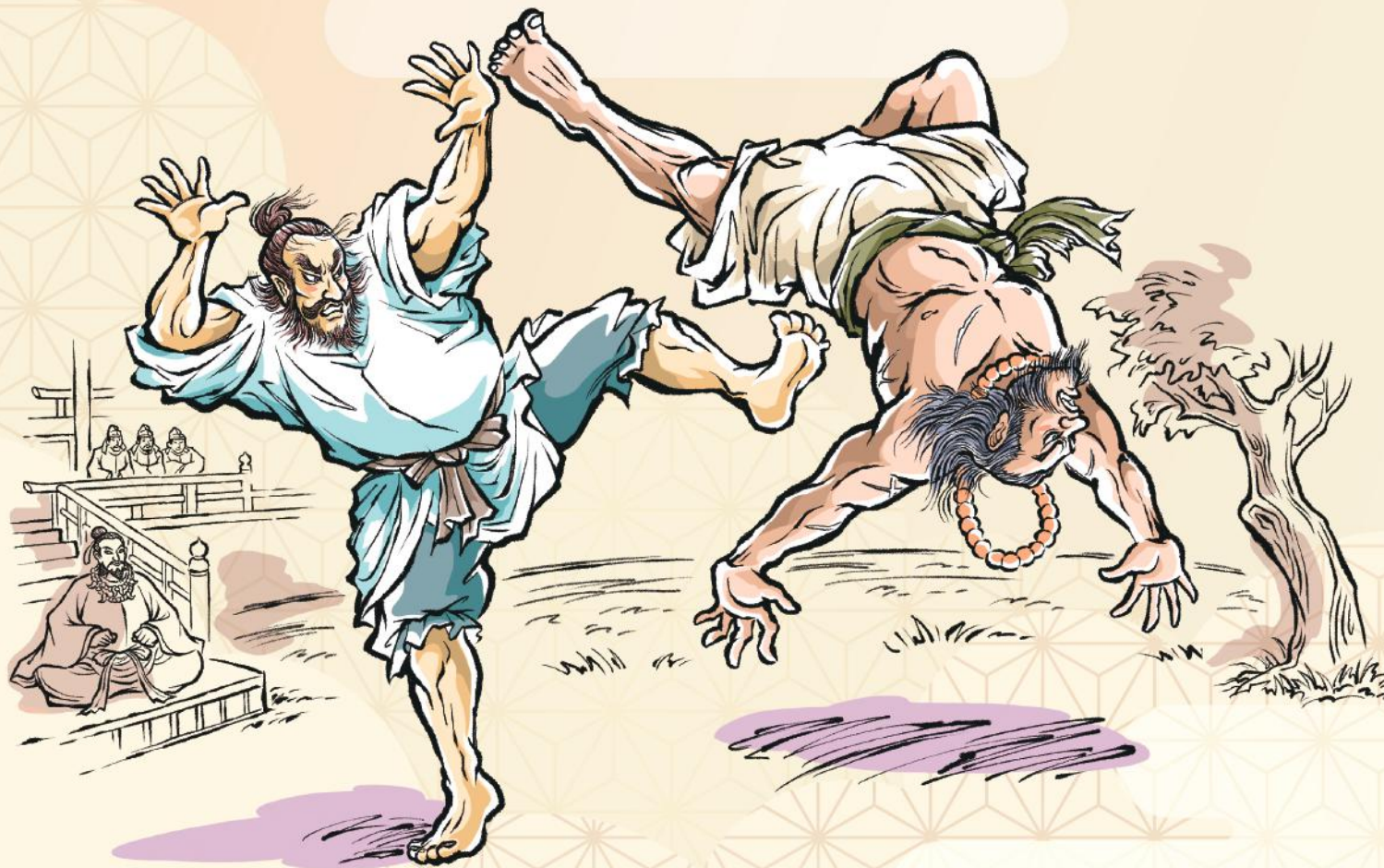
奈良県の桜井市、香芝市、葛城市には、
「相撲発祥の地」伝説があります。

『日本書紀』には、「當麻郷には當麻蹶速
という勇敢剛力がいて、天下に敵なし
と豪語していた。天皇が群臣に力くらべ
(角力)をするものを求められた。そこで、出雲
の野見宿禰が召され、兩人に力くらべをお
させになった。たちどころに蹶速は腰の骨を
折られて死んだ。これにより、蹶速の領地が
没収され宿禰に賜った。」とあります。

垂仁天皇7年7月7日、第11代垂仁天皇の
前で二人の力自慢、野見宿禰と當麻蹶速が
力くらべをしました。

野見宿禰が勝ち、當麻蹶速が敗れ
ました。この力くらべが、「国技相撲」と
「天覧相撲」のはじまりだとされています。
この冊子では桜井市、香芝市、葛城市を
訪ね、「相撲はじまりの地・奈良」の伝説と
歴史を紹介します。

現在の大相撲のルーツを、この冊子を持
って、歩いて、感じてください。



行司くん

相撲の勝負を決める一方、相撲の歴史を解説
してくれる奈良県人。桜井市、香芝市、葛城市
の相撲ゆかりの場所を訪ねると、どこからとも
なくやってきて、相撲についておしえてくれる。
夢は、野見宿禰と當麻蹶速の相撲の行司をつ
とめること。

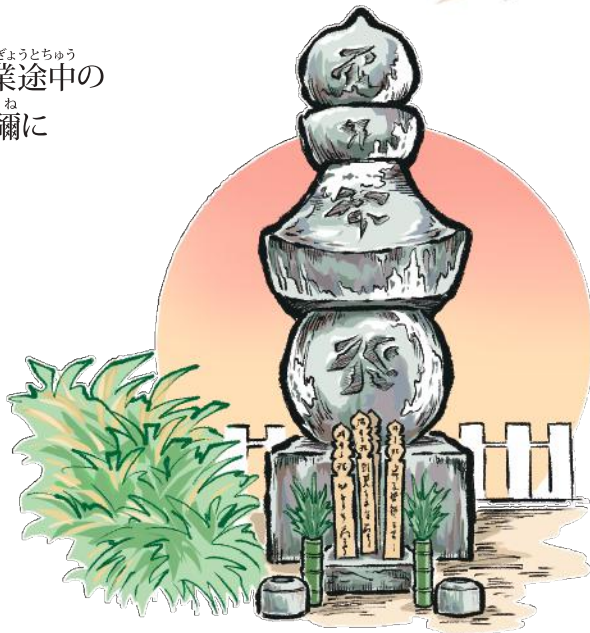
野見宿禰ゆかりの神社

十二柱神社

12の神々をまつことから
その名がついた神社です。
力士が支える珍しい狛犬が
出迎えてくれます。

神社がある桜井市の出雲集落は
野見宿禰のふるさとともいわれ、
野見宿禰の五輪塔(=お墓)があります。

江戸時代には、巡業途中の
力士たちが野見宿禰に
あやかるとともに
お詣りしました。



よく見ると、1匹の狛犬を4人の力士が支えているね。
力士たちが野見宿禰のように強くなるために、手を合
せているよ。
野見宿禰は桜井市の出雲集落で生まれたと伝わるほか、
出雲国(島根県)から来たとも言われているんだ。

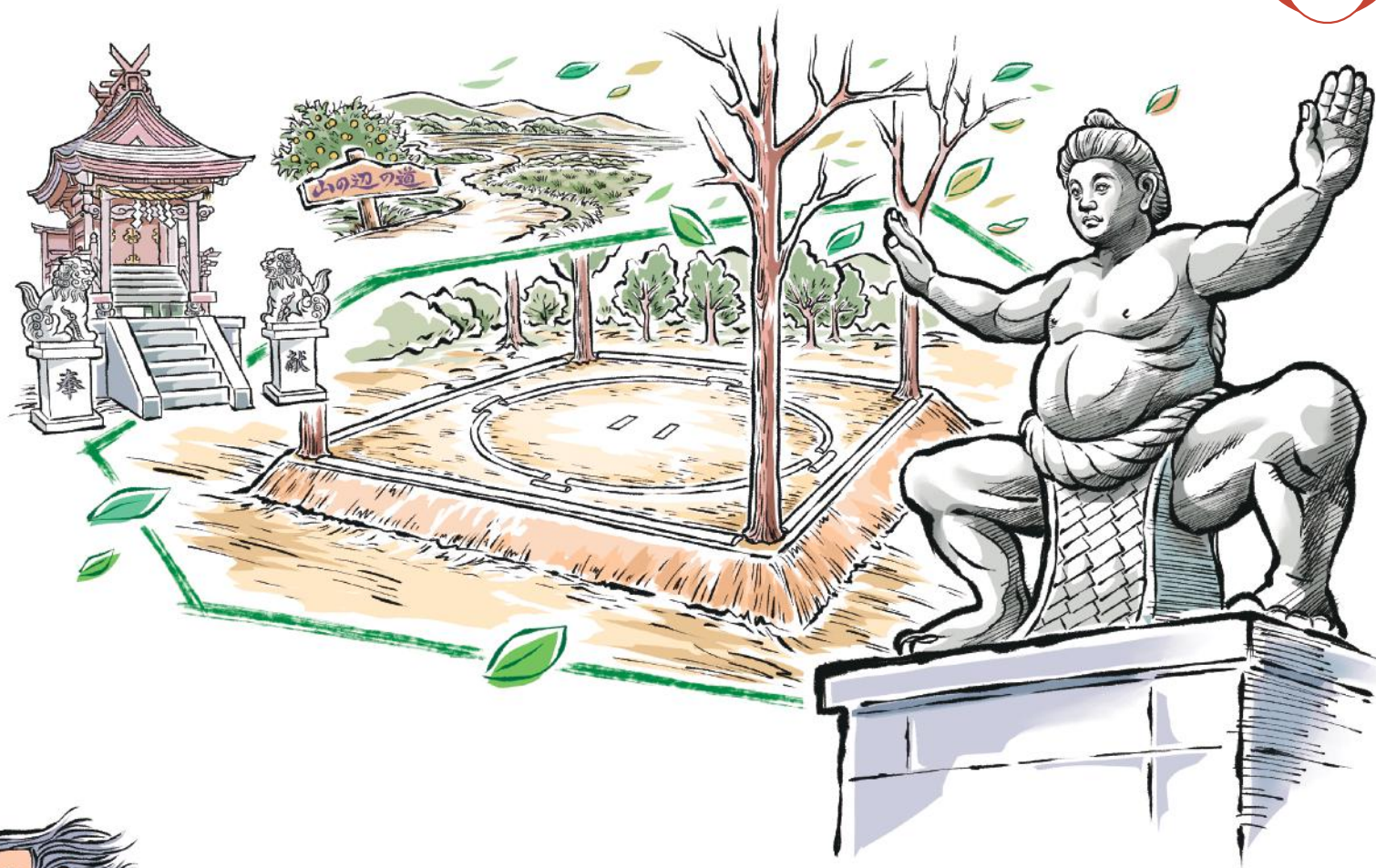
相撲はじまりの地

相撲神社

のみのすくね たいまのけはや
野見宿禰と當麻蹶速が
すいにんてんのう まえ ちから
垂仁天皇の前で力くらべをした、
「カタヤケシ」と呼ばれる地にある
ちい じんじゃ
小さな神社です。

てらんずもう こくぎすもう
天覧相撲と、国技相撲の
はじまりの地といわれています。

げんざい けいだい ちゅうおう
現在も境内の中央には
どひょう
土俵があります。
にほんさいこ みちやま べ みち
日本最古の道「山の辺の道」が
ちか とお
近くを通ります。



「カタヤケシ」のカタヤとは「方屋」と書いて「土俵場」のこ
となんだ。境内に横綱を締めた立派な力士像があるね。
おおずもう れい わ ぼしよ ならけんしゅつしん りきし
大相撲の令和2年1月場所で、奈良県出身の力士として
ゆうしょう とくしょうりゅうぜき き ねん ひ たかだい
98年ぶりに優勝した徳勝龍関の記念碑があるよ。高台
にあるので、奈良盆地がよく見えるね。

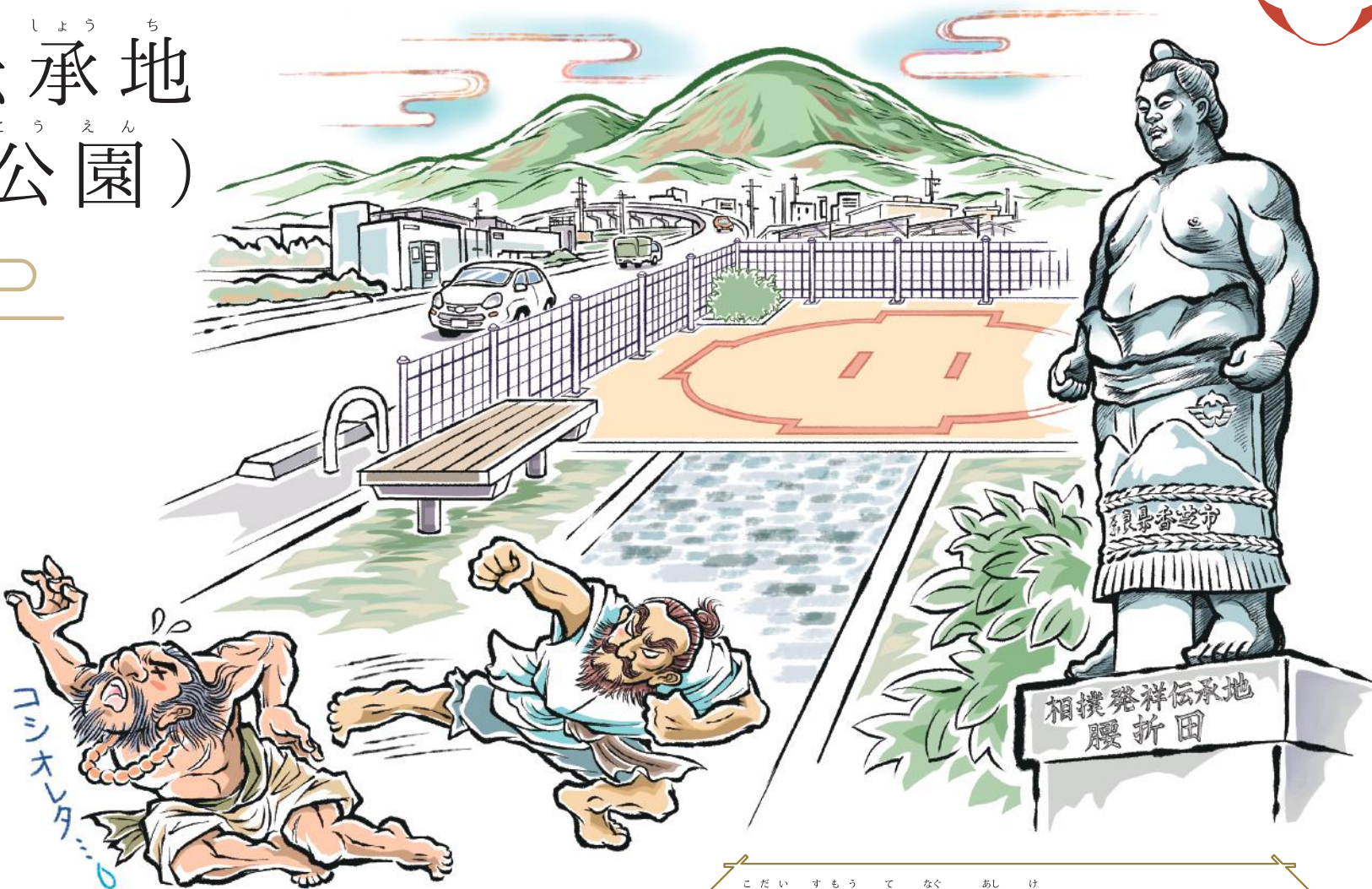
もう一つの力くらべの舞台

腰折田伝承地 (腰折田公園)

のみのすくね たいまのけはや
野見宿禰と當麻蹶速が
ちから つた
力くらべをしたと伝わる、
ぼしよ
もう一つの場所です。

けっとう たが あし
決闘はお互いの足での
け あ
蹴り合いとなり、
たいまのけはや こし ほね お
當麻蹶速が腰の骨を折られて
やぶ でんしょう
敗れたという伝承が、
こしおれだ ちめい ゆらい
腰折田の地名の由来です。

うつく にじょうさん み ぼしよ
美しい二上山が見える場所に
りきしぞう た
力士像が立っています。



こだい すもう て なぐ あし け
古代の相撲は手で殴る、足で蹴るなど、なんでもありの
かくとうぎ しょうぶ みきわ きょうじ
格闘技のようだったんだ。勝負を見極めて決める行司も
いまい すもう
いない。今の相撲とは、だいぶちがうね。
すもうじんじゃ こしおれだでんしょうち のみのすくね たいまのけはや
さて、相撲神社と腰折田伝承地、野見宿禰と當麻蹶速
たいけつ
が対決したのは、どっちなんだろう。

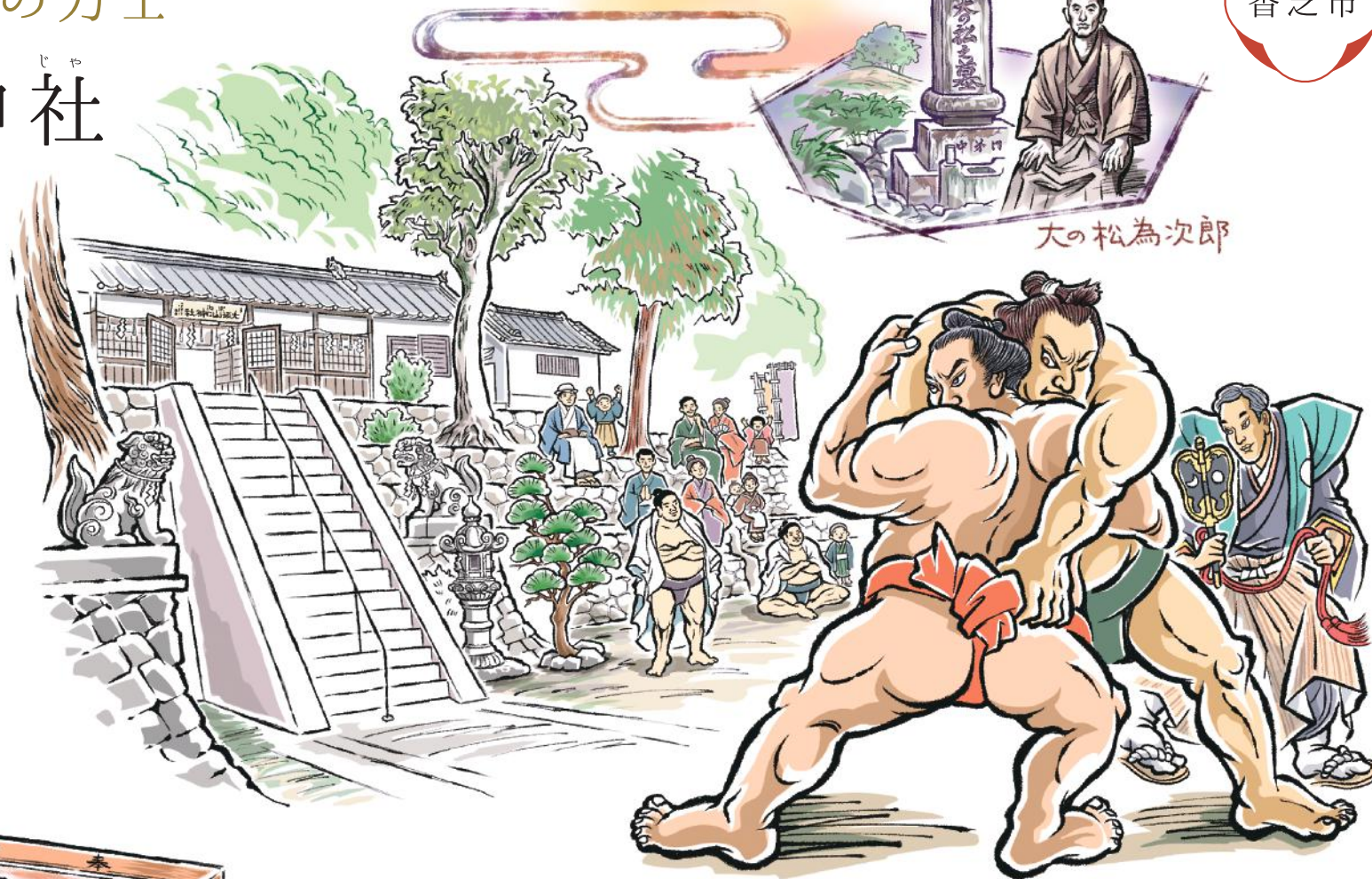
「宮相撲」と伝説の力士

大坂山口神社

けいだい どひょう あと
境内に土俵の跡と
いしづ さじきせき のこ じんじゃ
石積みの棧敷席が残る神社です。

あき さいれい ほうのう
秋の祭礼などで奉納する
ち い き すもう みやずもう
地域の相撲「宮相撲」が、
たいしょうじだい
大正時代までさかんに
おこな
行われました。

じもとしゅっしん りきし おお まつため じ ろう
地元出身の力士・大の松為次郎は
けいだい いんたいずもう おこな
境内で引退相撲を行い、
のち しろとずもう
その後は素人相撲の
せわやく かつやく
世話役として活躍しました。



大の松為次郎



りきし えが りっぱ え ま ほうのう
力士が描かれた立派な絵馬が奉納されているよ。
おお まつため じ ろう おお からだ
大の松為次郎は大きな体ではなかったけれど、130キロ
いし も あ ちからも
の石を持ち上げた力持ちだったそう。
りきし からだ あ おと さじきせき み むらびと
力士の体がぶつかり合う音、棧敷席で見ている村人の
はくしゅ かんせい いま き ぼしよ
拍手や歓声が、今でも聞こえるような場所だね。

大和まほろばの相撲の殿堂

かつらぎし
葛城市

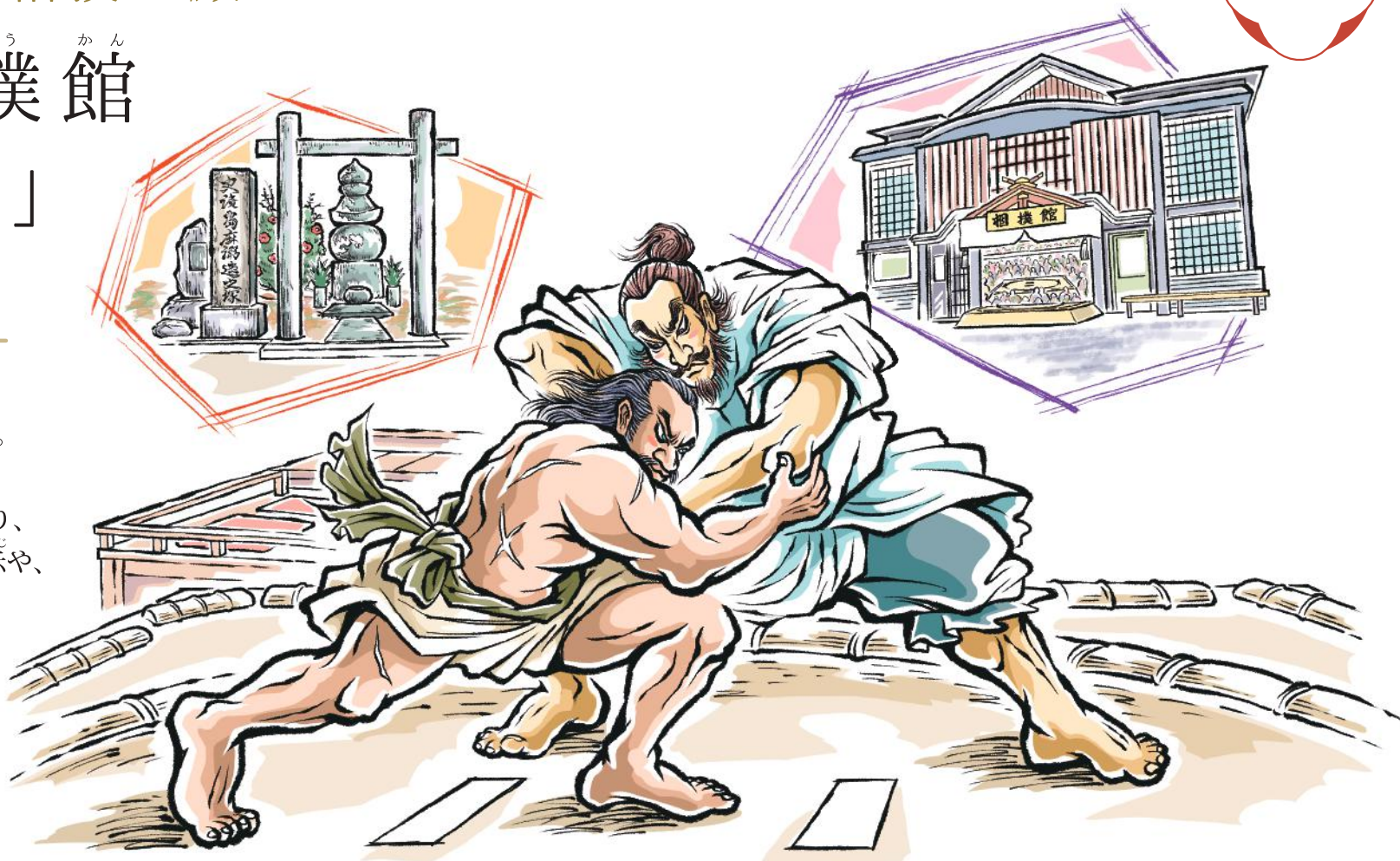
葛城市相撲館 「けはや座」

たいまのけはや けんしゅう
当麻蹶速の顕彰と
すも う ふきゅう もくてき
相撲の普及を目的とした、
ぜんこく めずら すも う しりょうかん
全国でも珍しい相撲の資料館です。

やく まん てん すもうかんれんしりょう
約1万2000点の相撲関連資料があり、
けしやう きちやう しりやう てんじ
化粧まわしなどの貴重な資料の展示や、
ていきてき きかくてん おこな
定期的な企画展を行っています。

かんない おおすもう ほんぼしよ
館内には大相撲の本場所と
おな おお どひやう
同じ大きさの土俵があり、
だれでもじゆうに
あ
上がることができます。

りきし き きねんさつえい
力士の着ぐるみを着ての記念撮影や、
しお たいけん にんき
塩まき体験なども人気です。



6m 21cm!



たいまのけはや はか つた たいまのけはやつか
当麻蹶速の墓と伝わる「当麻蹶速塚」があって、
ばしよまえ げんえき りきし さんばい
場所前には現役の力士が参拝することがあるそうだよ。
み あ み あ たいまのけはや か れきし
見合って、見合って、はっけよい! 当麻蹶速が勝って歴史
をひっくり返すか、伝承どおりに野見宿禰が勝つか。
ねんがん おおいちばん と し き
念願の一番を取り仕切ります!



① 十二柱神社・野見宿禰五輪塔

奈良県桜井市出雲650
境内参拝自由
☎0744-42-9111（桜井市観光まちづくり課）
交通：近鉄大阪線
「長谷寺駅」から徒歩約20分

② 相撲神社（穴師坐兵主神社内）

奈良県桜井市穴師
境内参拝自由
☎0744-42-9111（桜井市観光まちづくり課）
交通：JR万葉まほろば線・近鉄大阪線
「桜井駅」から奈良交通バス天理行き
「相撲神社口」バス停から徒歩20分

③ 腰折田伝承地（腰折田公園）

奈良県香芝市磯壁6丁目
見学自由
☎0745-44-3312（香芝市商工観光課）
交通：近鉄南大阪線
「二上神社口駅」から徒歩約15分

④ 大坂山口神社

奈良県香芝市穴虫1499-1
境内参拝自由
☎0745-44-3312（香芝市商工観光課）
交通：近鉄大阪線
「二上駅」から徒歩約4分

⑤ 大の松為次郎・墓碑

奈良県香芝市穴虫2480
見学自由
☎0745-44-3312（香芝市商工観光課）
交通：近鉄南大阪線
「二上山駅」から徒歩約10分

⑥ 葛城市相撲館「けはや座」・ 當麻蹶速塚

奈良県葛城市當麻83-1
時間：10時～17時
休館日：火・水曜（祝日は開館）
入館料：大人300円、小人150円
☎0745-48-4611
交通：近鉄南大阪線
「當麻寺駅」から徒歩約5分



「相撲はじまりの地・奈良」

2025年3月発行

発行：大和まほろば相撲連絡協議会

イラスト：村井英晃（フテュログラフィックス）

デザイン：川上伊都子（フテュログラフィックス）

編集：千脇孝裕（旅行読売出版社）

※無断複製・無断転載を禁じます。